

こんにちは！ かめおかゆみこです。

いつも、メルマガ「今日のフォーカスチェンジ」をお読みいただき、
ありがとうございます。

おかげさまで、この11月1日に、8年目を迎えることになりました。

ひと足早く、7周年記念企画として、

子どもの輝く未来のために
あなたがあなたを好きになる！

というテーマで、記念セミナーを開催させていただきます。

そこで、このメルマガをお読みいただいているみなさんへの
感謝の気持ちをこめて、三つの手紙を書くことにしました。

せっかくなので、

はじめてビデオレターに挑戦してみました。

ちょっと緊張していますけど。(^^ゞ

それでは、いつてみたいと思います。

子どもの輝く未来のために
いま、私たちにできること。

第一の手紙「手ばなすということ」

てばなす、ということは、結局のところ、
私は、信頼するっていうことだと思うんですね。

私には、自分の子どもはいませんが、脚本を担当して、もう
10年かかわっている、横浜市青葉区小中高生ミュージカルとか、
いくつかの場面で、子どもとかかわる機会があります。

子どもたちとかかわればかかわるほど、もうすべての子が、
かわいくてしかたなくなります。ほんとに、いろいろな子がいますけど、
どの子もみんな、すばらしい魅力にあふれているんです。

人間っていうのは、もともと生きているだけで十分に魅力的だって、
私は思ってるんですけど、子どもたちについては、
もう手放して、ほんとに好きになっちゃうんですね。
だからこそ、その魅力を最大限にひきだしてやりたいなあと
思わずにはいけないんですね。

ただ。そんななかでも、私は、ひとつだけ決めていることがあるんです。
それは、子どもというのは、
てばなすためにかかわるんだ、ということなんです。

どんな子どもだって、いつかは、そこを離れていくわけでしょう。
一生、1 から 1 0 まで、面倒を見つづけることなんて、できないんです。

これは、親だって同じですよ。
いつまでもおむつをかえてるわけじゃないし、
子どもも、成長するにしたがって、考えかたも、
だんだん変わってきます。
それが当たり前の人間の成長というものですからね。

ただ、親という立場にいと、
ついそのことがわからなくなりがちですよ。
いつまでも手元にいてくれるような気がして、

私の場合は、たまたま、自分の子どもではないからこそ、
そのことに、早く気づけたのかもしれませんが。
中学校演劇部の外部指導員をしていたときには、
3 年ごとに離れていっちゃいます。

小学3年生から参加してくる、横浜市青葉区小中高生ミュージカル
でさえ、高校3年生になったら、さようならです。
ああ、子どもは離れていくものなんだなあ、
一生一緒にいることなんてできない、
同じ考えでいてくれることなんてないんだ、って。

でも、そのことが納得いってから、
ますます、子どもたちが、かわいくてしかたなくなりました。
だって、絶対にいつかは離れてしまうんですからね。
そしたら、いま、この瞬間に、
最大限のことをせずにはいられなくなるんです。

その、最大限のこととは何かというと、
その子を、とことん信頼するってことです。
子どもですから、いろいろな態度を見せます。
必ずしも、こちらの希望どおり、期待どおりにはいてくれません。
正直、時には「このやろ」って思うこともありますよ。
まあ、これはすべての人間に言えることですけどね。

だからこそ、たとえ表面では、どんなふうに見えていても、
この子には、変わるちからがある、超えるちからがある、
伸びるちからがある、と、

徹底的に信じるのが、大切だと思ってるんです。

これね。ここがポイントなんですけど、
いま、目の前で、すぐにできないとしても、
いつかできる、その先を信じつづけて応援すると、
子どもは、ちゃんと変わっていくんです。
超えていくんです。伸びていくんです。

このことがわかったら、
どんな思い切ったチャレンジだって提案できるんです。
そして、その子がやる気になりさえすれば、
あとは、全面的に応援するだけ！ 信頼して、信頼して、
応援しつづけるんです

この話。直接、子どもとかかわる立場にいないひとは、
よかったら、「自分」に置き換えてみてください。
自分には、変わるちからがある、超えるちからがある、
伸びるちからがある...って、徹底的に信じてみるんです。

そうして、思い切ったチャレンジを提案してみしてほしいんです。
そう、自分にですよ
そしたらあとは、全面的に応援するだけです。

自分を信頼して、信頼して、応援しつづける。

子どもと同じで、いま、目の前で、すぐにできないとしても、
いつかできる、その先を信じつづけて応援する。

そしたら、あなたも、ちゃんと変わっていくんです。

超えていくんです。伸びていくんです。

かわいくてかわいくてしかたない子どもを応援するように、
かわいくてかわいくてしかたない自分を応援してあげてください。

「自分なんてかわいいと思えない」というひとは、
まずは、信頼するところからはじめてください。

「信頼なんてできない」というひとは、いまではなく、
いつかの未来を信頼してあげてください。未来は未知数ですから。

そうですね？ あなたが、的中率100%の予言者でないかぎり、
どんな信頼だって、できちゃうはずです。
だから、どっちにしても、応援する以外なくなっちゃうってことです。

結局、手ばなすっていうことは、
未来を勝手にコントロールしないってことだと思うんです。

いま、自分が想像している以上に、子どもも自分も、
この先、変化していく可能性をもっているわけですから、
いま見えていることだけで判断して、
あれこれ決めちゃうのはもったいない。
人間の生命というものにたいして、もったいない。
私は、そういうふうに思うんです。

だから、信頼して、信頼して、
お互いに、すてきな未来をつくっていきましょう！
...って、そういう提案をしたいんです。

いかがでしたでしょうか？

もしもこのメッセージに共感していただけたら、
10月24日、東京は渋谷、子どもの城で開催される、
メルマガ「今日のフォーカスチェンジ」の7周年記念イベントに、
足を運んでいただけると、とてもうれしいです。

こころからの感謝をこめて。

ありがとうございます！